

千葉大学アカデミック・リンクセンター
ALPSプログラム キックオフシンポジウム
教育・学習支援専門職の確立に向けて
2015年12月7日

教育活動の組織化と分業－教育・学習支援専門職の可能性

東北大学高度教養教育・学生支援機構 副機構長
大学教育支援センター長
キャリア支援センター長
学際融合教育推進センター長
羽田貴史

近代的大学教育の基本枠組み 19c→20C前半

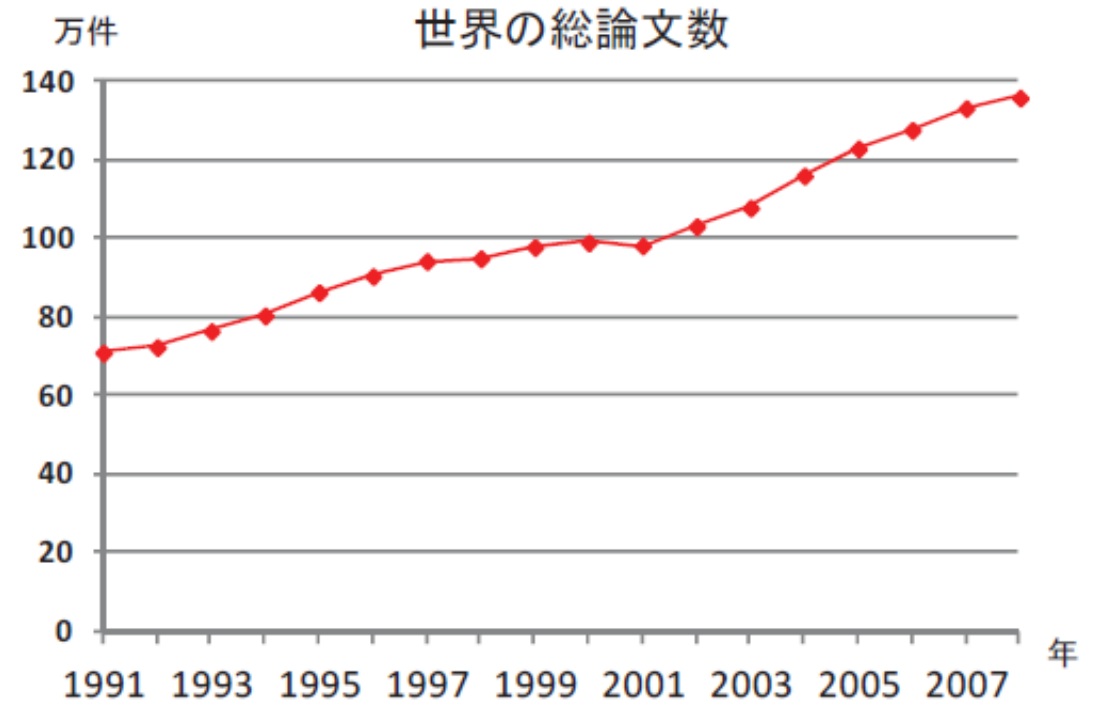
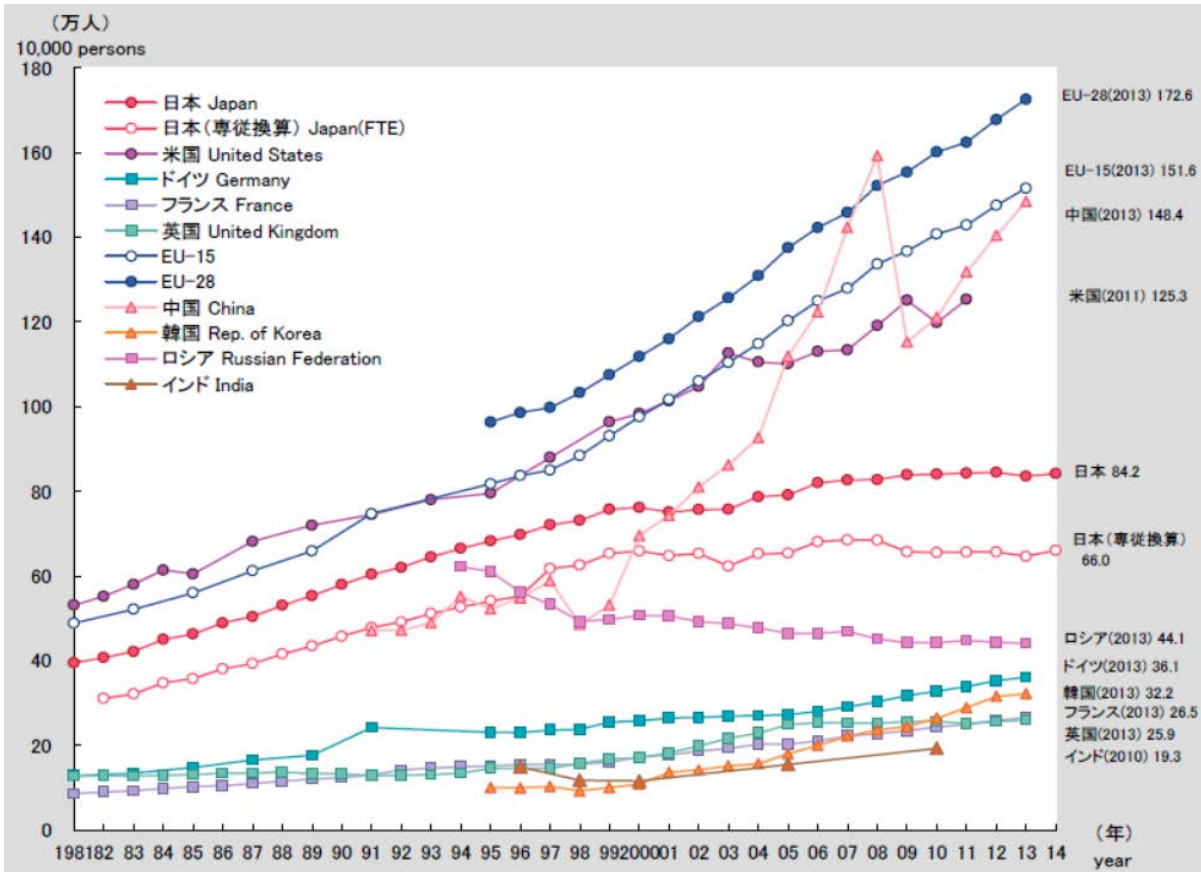
- 19世紀の大学教育の基本モデル:プロイセン・フンボルトモデル
 - 科学の制度化としての大学:教育機関から研究機関へ
 - 知の統一体としてのWissenschaft(あらゆる形式の知識と探究を包括し,サイエンスとスカラシップの結合)
 - 職業訓練型の知識の吸収ではなく,真理探究と理解を一般教養の中核に
- 19世紀後半から20世紀にかけて欧米諸国の文脈に対応して普及
 - アメリカは研究組織(大学院)の制度化と産業革命に対応した応用学(ランドグラントカレッジ)
 - 日本は帝国大学における専門学の移入=再生産(講座制)
 - 人間形成としての学問は受容せず(大木喬任「訓辞控」日本に摂取すべき必要のあるのは「百般の工芸技術及天文窮理医療法律経済」等の実事であって「智識」以上の「道理」までも学ぶ必要はない,『東京大学百年史 通史1』p.265)

* アンダーソン『近代ヨーロッパ大学史 啓蒙期から1914年まで』(昭和堂, 2004=2012)

近代的大学教育像の転換 20c後半-21c

- 学生の変容(大衆化)と大学教育とのギャップ
 - 研究志向の教育と学生のニーズとの対立
 - 非伝統的学生の増加と大学への適応
- 知識の拡大と教育とのギャップ
 - 科学研究の拡大, 知識の増大と教育への負荷
- 大学と外部世界の接続の再構築
 - 知識移転と大学教育への相互移転(産学連携と教育プログラム化)
 - 大衆化した中等教育と大学教育との不連続
 - アカデミックな大学教育と職業・労働市場への不連続
- 教育技術の革新とコストの増
 - 教育における分業化の促進(リメディアル, TA/GSI)
 - ICTの利用, 遠隔教育, MOOC

科学研究の爆発



文部科学省『平成27年版 科学技術要覧』

JST『研究開発の俯瞰報告書 データで見る俯瞰対象分野2012』

大学教育像の転換がもたらす組織化

- 大学への接続と適応の強化
 - アドバイジング(19-20世紀アメリカ) * 清水栄子『アカデミック・アドバイジング その専門性と実践 日本の大学へのアメリカの示唆』(東信堂, 2015年)
 - 初年次教育, リメディアル教育
- カウンセリング・アドバイス教育の組織化
 - TA, GSI, IT技術者の連携, 学習相談・学生相談・健康相談・留学生支援の連携
- 社会への接続
 - キャリア支援
 - PFP(Preparing Future Profession)
- 教師=学生関係による教育からキャンパス全体の教育へ
 - ラーニング・コモンズ, キャンパスの学習空間化

「学生中心の大学」というグローバル・コンセンサス

- 1998年10月 ユネスコ 高等教育世界宣言
 - 使命として「高等教育の中心的使命と価値, 特に, 社会全体の持続可能な発展と改善に寄与」
 - 主な当事者としての高等教育の職員と学生
 - 高等教育へ移行する学生の支援, 多様化する学修者のニーズを考慮し, ガイダンスやカウンセリングの充実
- 2002年 世界宣言のフォローアップとしてIASAS (International Association of Student Affairs and Services) が協力し, 29の専門団体が関与し, *The Role of Student affairs and services in higher education A practical manual for developing, implementing and assessing student affairs programs and services* 公表

高等教育の学生関係/サービス部門の業務説明(1)

- 学習支援 Academic advising(educational counselling)
- 入学 Admissions
- 成人等非伝統的學生への支援 Adult/non-traditional student services
- 書籍サービス Bookstore services
- 課外活動 Campus activities/student organizations
- キャリア支援 Careers service
- 信仰への支援 Chaplaincy/multi-faith services
- 育児ケア Child-care

学生関係/サービス部門の業務説明(2)

- 入学前プログラム College preparatory programs(pre-college)
- 地域サービス学習 Community-service learning
- カウンセリング Counselling services
- 発展的学習への活動 Developing learning centres
- 食堂サービス Dining/food services
- 障害者サービス Disability services
- 財政援助/学生アルバイト Financial aid/student employment
- 健康サービス Health services
- 留学生サービス International student services

学生関係/サービス部門の業務説明(3)

- 異文化/少数民族学生サービス Multi-cultural/ethnic minority student services
- 新入生プログラム (オリエンテーション) New student programs and services)
- 性的少数者へのサービス Services for lesbian/gay/bisexual/transgendered(LGBT) student
- スポーツ/娯楽/校内スポーツ Sports/recreation/intramurals
- 学内規律/行動規範 Students discipline/conduct standards
- 住居/寮 Student housing/accommodation and residential life
- 登録と記録 Student registration and records
- 女性への活動 Women's centre

ユネスコ・IASASの新たなレポート

- 2009年 高等教育の国際化が進み、学生支援の重要性、効果的な実践が求められる中で、IASASが中心になり、*Student affairs and Services in Higher education :Global Foundations, Issues and Best Practices*公表
- 49か国のカントリーレポートをもとに、学生の身体・精神面の保護、学生支援関係者の倫理、災害のあった国での課題などを追加・強調
- 学生や支援の評価などの研究課題を拡大
- 学生関係の機能を再定義し、新たな領域を拡大

新たな領域の追加

- 学習支援センター Academic support centres
- 成人/非伝統的/通学生への支援 Adult/non-traditional/commuter student services
- 同窓生 alumni relation in student affairs
- 情報センター Call centre
- 保安・警察 Campus security /police and protection services
- 大学組合/大学センター/学生センター College union/university centres/student centres
- 国際プログラム/学生の流動サービス International programs/student mobility services management
- リーダーシップ育成 Leadership education,development,training and support
- 保護者プログラム Parent programs
- 教育航海 Shipboard education
- 学生に関する研究・評価 Student affairs research/student life studies/assessment/evaluation

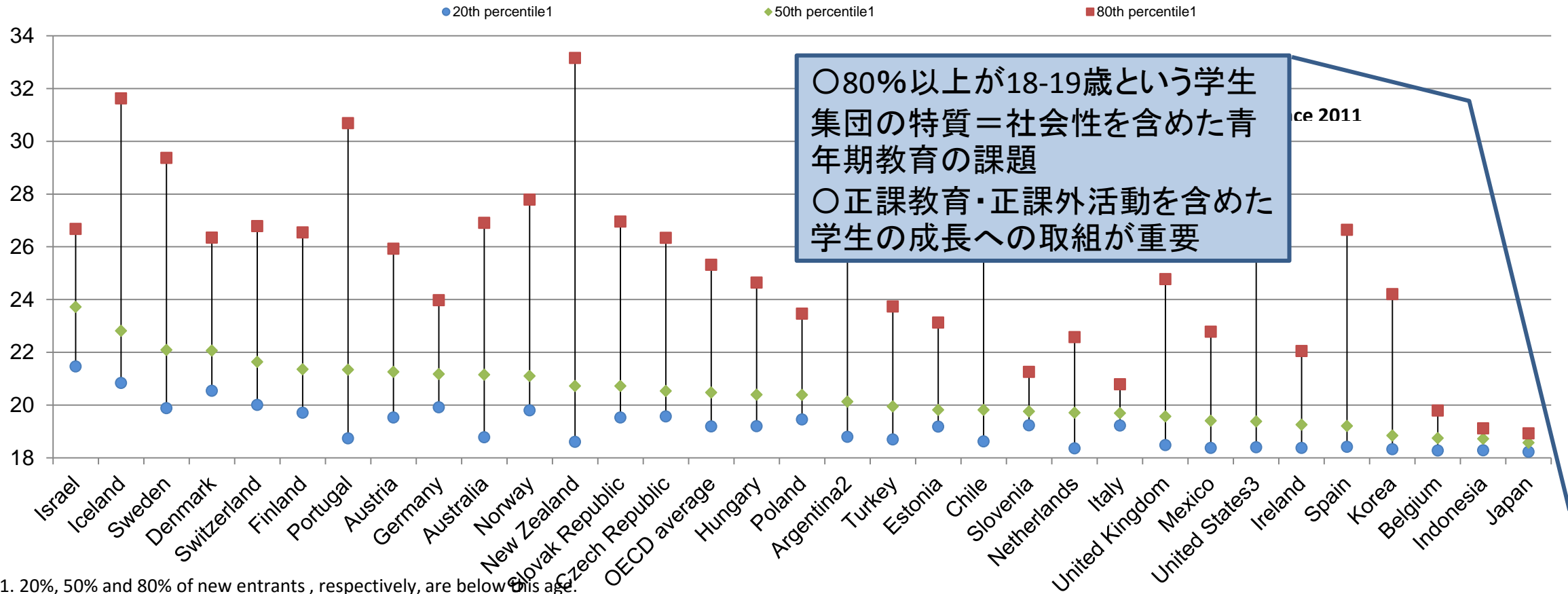
日本における学生中心大学への提言

- 「大学における学生生活の充実方策について（報告）－学生の立場に立った大学づくりを目指して－」（2000年，広中レポート）
- 学生の成長を支える環境の変化，地域の教育機能の弱体化
- 「教員中心の大学」から「学生中心の大学」へと視点の転換
- 正課外教育の積極的な捉え直し
- 学生に対する指導体制の充実
 - － 学生相談（修学，経済問題，心理的相談，健康相談，就職・進路相談，正課外活動，ハラスメント相談）
 - － 就職指導
 - － 修学指導
 - － 学生の自主的活動

日本の大学生の特殊性-青年集団としての未成熟

Education at Glance OECD Indicators 2011

Chart C2.2 Age distribution of new entrants into tertiary-type A programmes (2009)



○80%以上が18-19歳という学生集団の特質＝社会性を含めた青年期教育の課題
 ○正課教育・正課外活動を含めた学生の成長への取組が重要

1. 20%, 50% and 80% of new entrants, respectively, are below this age.

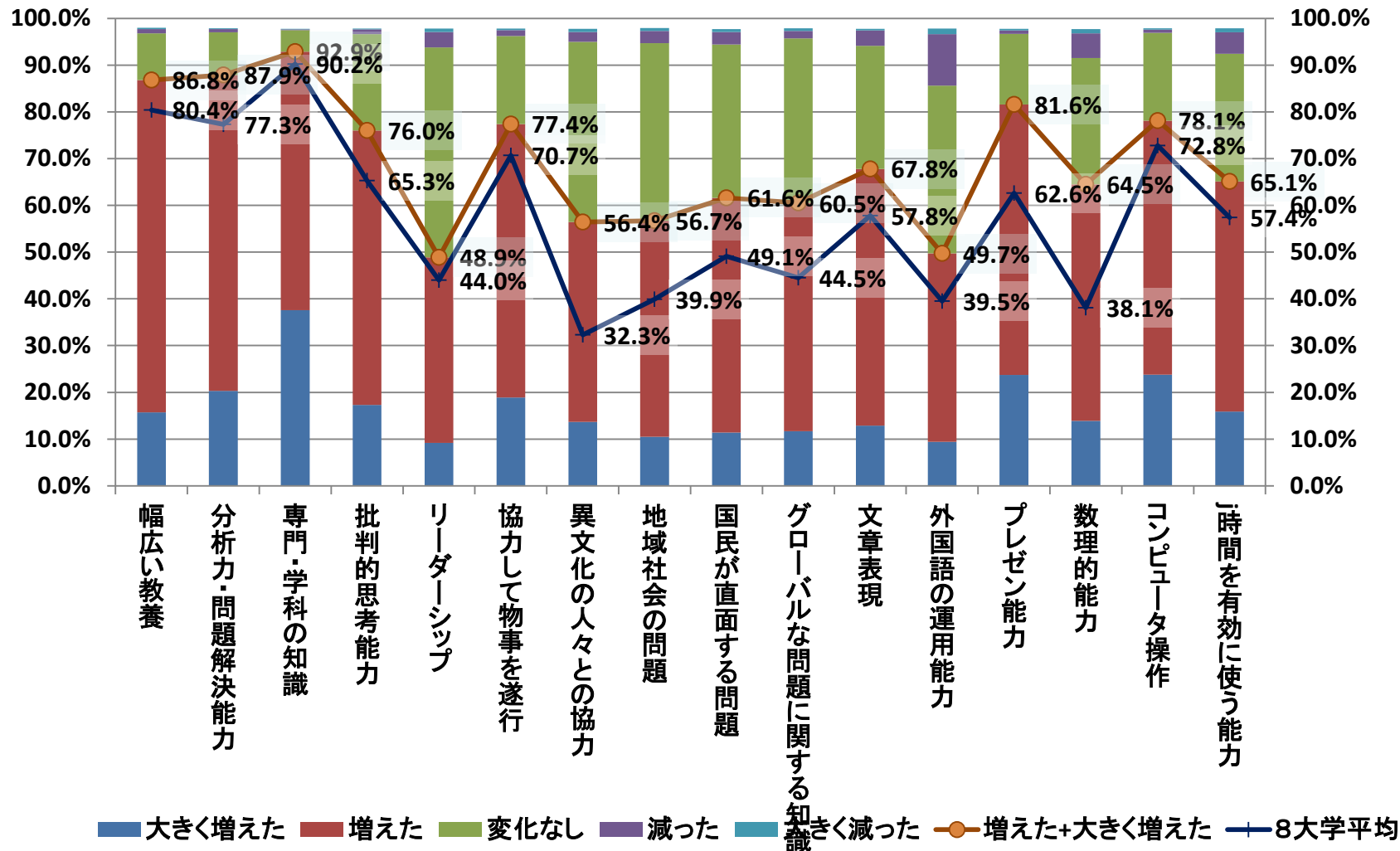
2. Year of reference 2008.

3. The entry rates for tertiary-type A programmes include the entry rates for tertiary-type B programmes. Countries are ranked in descending order of entry rates for tertiary-type A education in 2009 (50th percentile).

Source: OECD. Argentina, Indonesia: UNESCO Institute for Statistics (World Education Indicators Programme). Table C2.1. See Annex 3 for notes (www.oecd.org/edu/eag2011).



日本の大学生のコンピテンシー



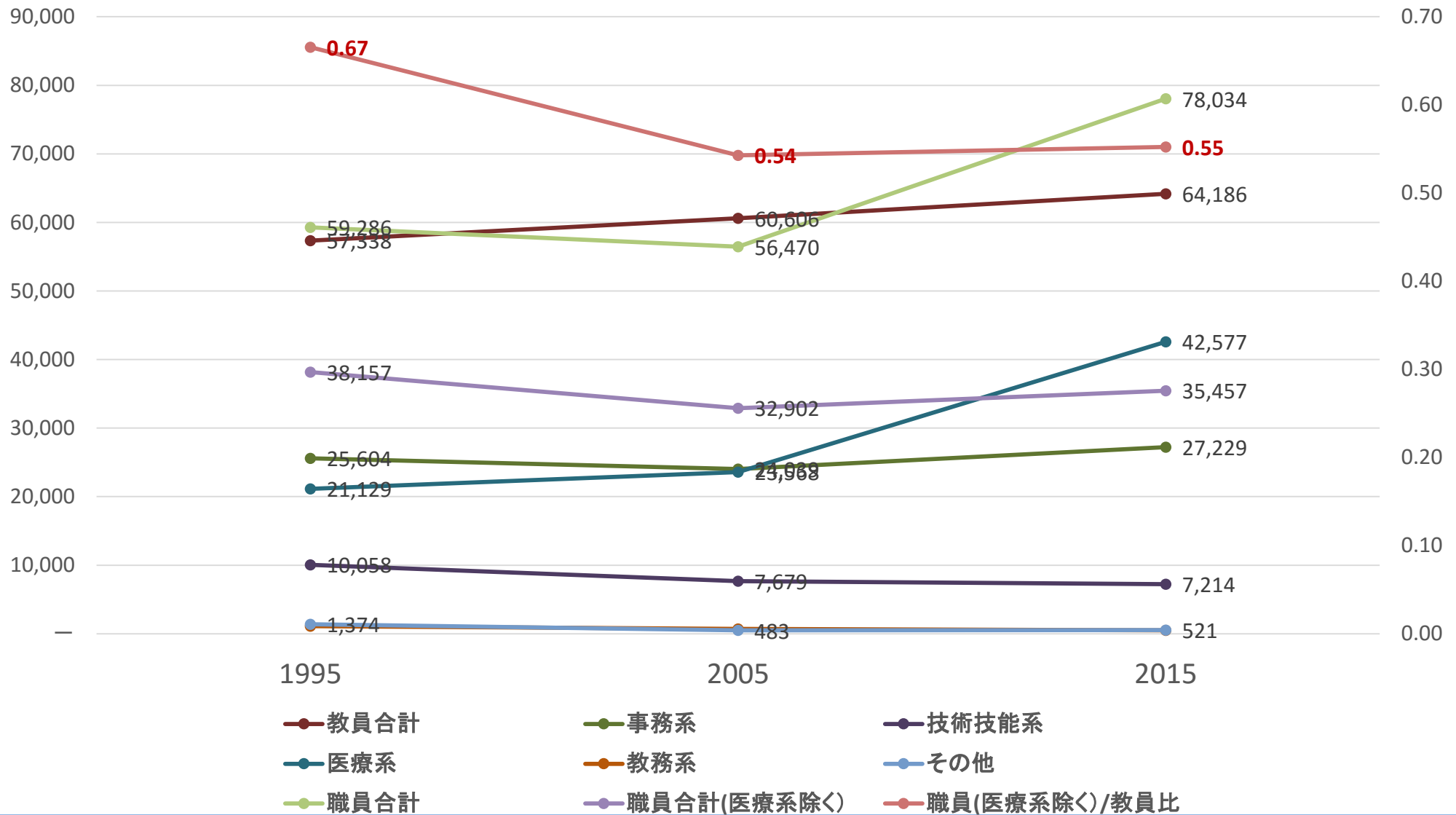
学務審議会/東北大学高等教育
開発推進センター『第1回 東北大
学の教育と学修成果に関する調
査報告書(速報版)』(2013)
北海道大学, お茶の水女子大学
など7大学『学生調査2012年報告
書』(2013)



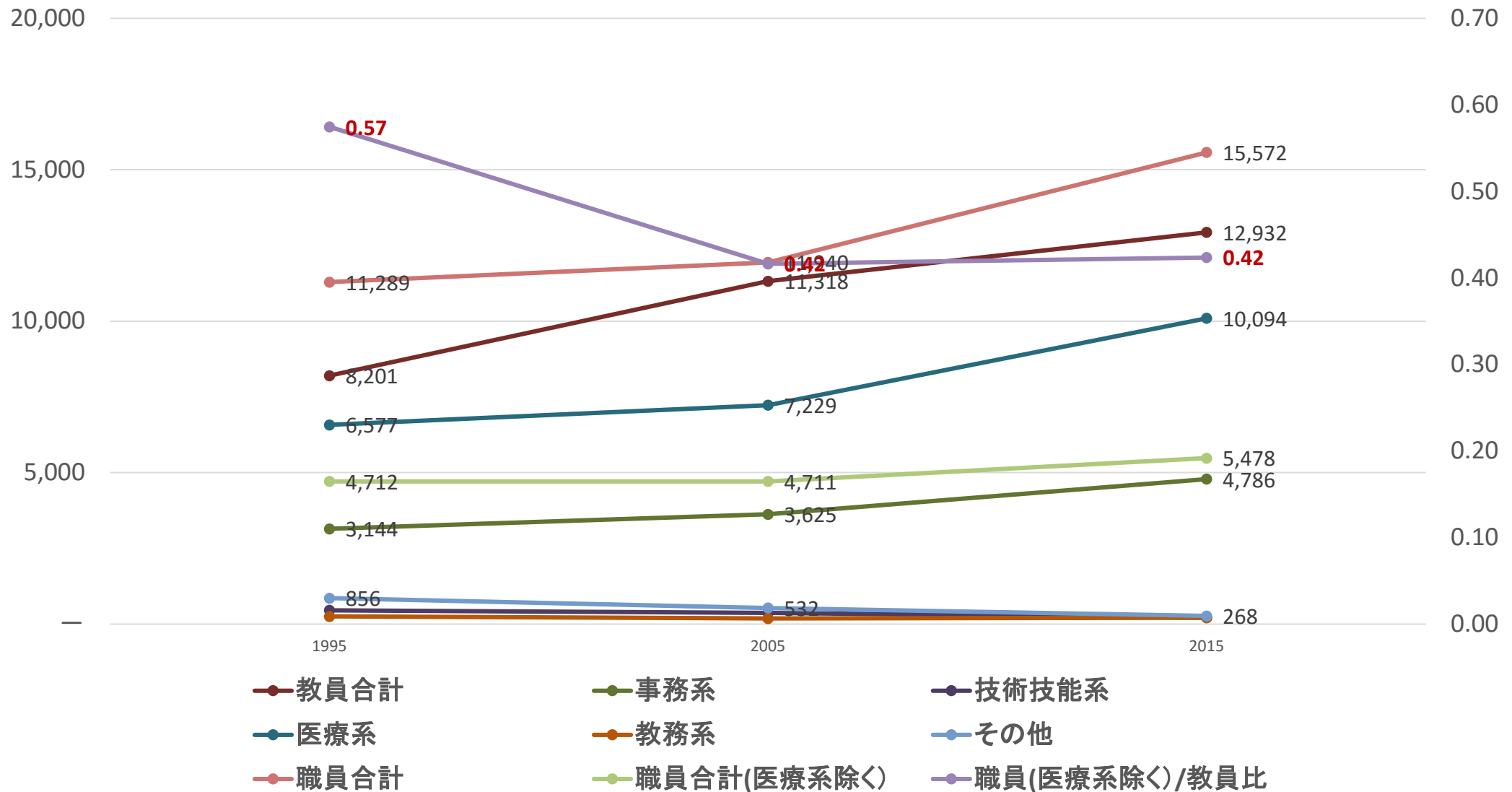
学生中心の大学の課題

- 各種の学習支援・学生支援を誰が担うのか
 - 教員以外に開かないアカデミックキャリア, 待遇(技術職員の例)
- 教員/職員の区分を超えてどう協業するか
 - 特に国立大学に厳しい人件費と人事異動ルール, 教員の仕事を職員に転嫁すると見られがち
- 関係者に必要な専門性と開発をどう高めるか
- 学習支援・学生支援の効果をどう測定し, 質を高めるか
- 全人格的発達が位置付けにくい日本の大学教育
 - 専門教育の知識・技能が目標
- キャンパス全体の活用をどのように統合してマネジメントするか

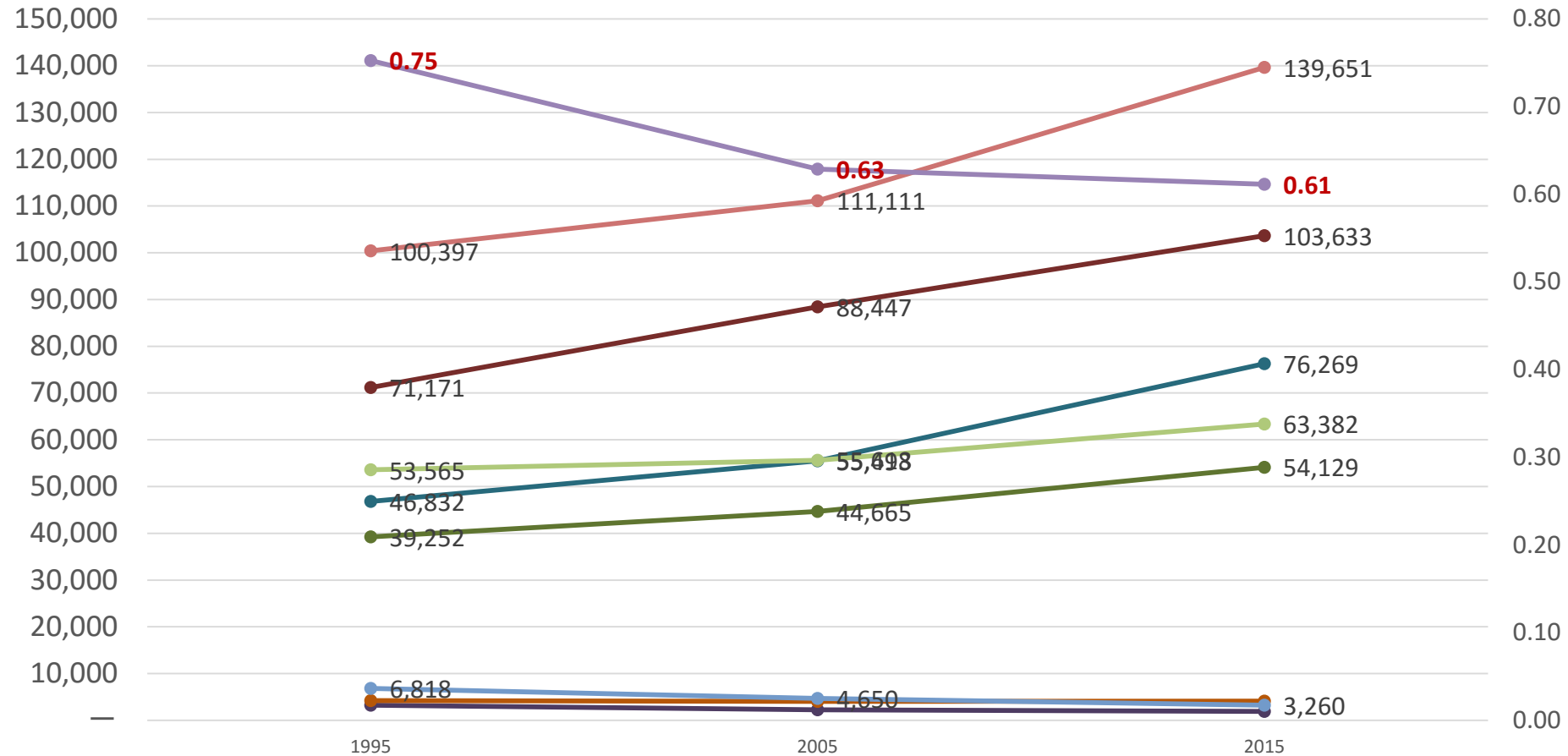
国立大学教員/職員数推移



公立大学教職員数推移



私立大学教員/職員数推移



- 教員合計
- 事務系
- 技術技能系
- 医療系
- 教務系
- その他
- 職員合計
- 職員合計(医療系除く)
- 職員(医療系除く)/教員比



イギリスの例

- イギリスの大学職員

- Academic staff (Professors, Readers, Associate Professors)

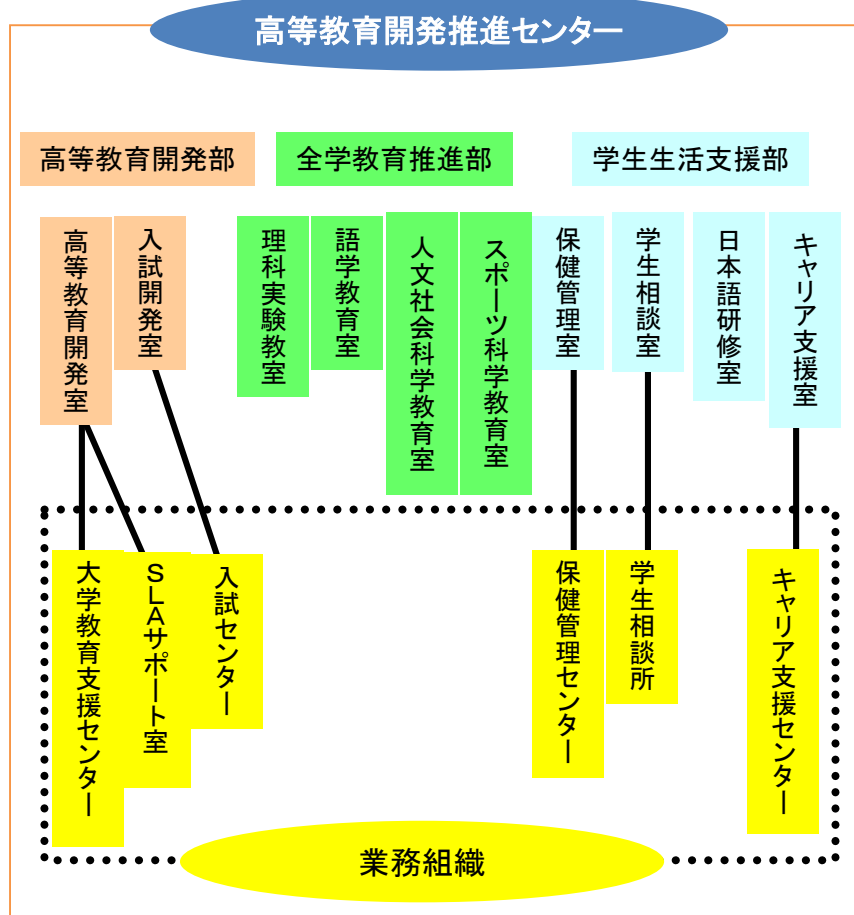
- Academic Related Staff

この職群の役割は大学での教育の提供, 研究に直接間接に支援する専門的, 管理的, 運営サービスに関するもので, このサービスは大学職員, 学生, より広い公衆も含む。これらの役割は, 大学本部, 専門サービス部門, 及びデパートメントに配分される。大学本部の管理運営, 専門的助言(法務, 人事), 財政的運用と助言, 情報サービスで図書館やコンピュータサービスを含む, 学生サービス(キャリアアドバイス, 特別な支援を要するサービス, 住居と余暇), 施設設備の管理, デパートメントとファカルティのマネジメント, 起業・商業活動, 地域へのサービス・広報

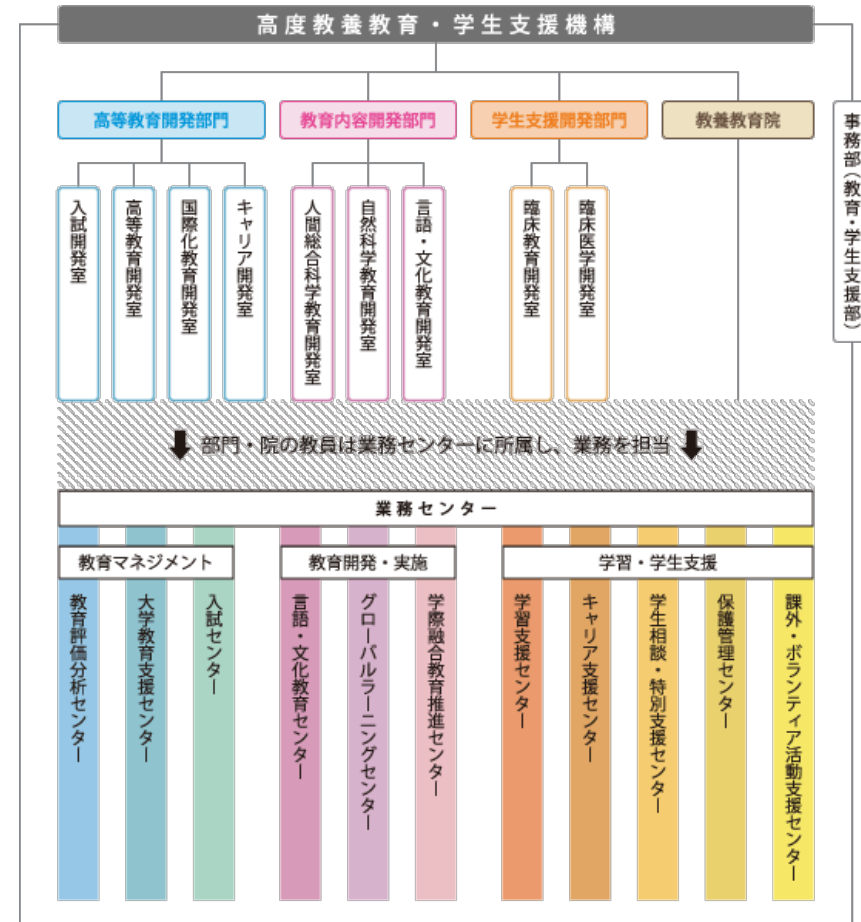
- Support staff - Apprenticeships - International staff

*University and College Union, Academic-related job family

東北大学のケース-総合的學生支援組織



国際交流センター
国際教育院
グローバルラーニングセンター
教養教育院
高度イノベーション博士人財育成センター



※機構の各部門は、旧組織の事業をすべて引き継いで継続的に事業を推進している。



組織	役割	スタッフ	課題
学習支援センター	全学教育を中心とした授業が分からない学生への支援など	准教授1, 助手2, SLA(大学院生, 学部生)48名	学習理論に基づく業務展開, 持続的な運営スタッフの確保
学生相談・特別支援センター	メンタル学生相談, 発達障害学生支援, ハラスメント対応	教授2, 准教授1, 講師2, 助教3:事務補佐1	相談業務と研究・教育とのバランス, 部局・学生支援との連携・協力
保健管理センター	健康診断, 診療, 健康教育	教授2, 准教授2, 助教6:看護師5, 薬剤師ほか	部局・学生支援との連携・協力
グローバルラーニングセンター	スーパーグローバル事業の推進, 留学生支援, 学生の国際交流	教授3, 准教授3, 講師1, 特任教員8	入口から出口までの留学生支援, 部局・学生支援との連携・協力
教育評価分析センター	教育情報の収集・分析・教育改善の改革案発信, IR機能	教授1, 准教授1, 講師1, 特任講師1	教育改革のための研究の在り方の模索
大学教育支援センター	教職員の能力開発(教育関係共同利用拠点のプラットフォーム)	教授2, 准教授1, 講師1	専門教育の内容・方法改革の戦略の模索
課外活動・ボランティアセンター	ボランティア活動	特任准教授1	ボランティア活動とサービスラーニング化
キャリア支援センター	学士から大学院博士までのキャリア教育, キャリア支援	准教授2, 特任准教授1, 特任教員3, 職員8	修士から博士移行時のキャリア支援の在り方

教育・学習支援専門職を確立するための課題

- 教育・学習(学生)支援の専門性の探究
 - 急速な「専門職化」のリスク, 見えないキャリアアップのステージ
 - 専門性の構築と職の設置は別物
- 学生発達の評価と理論の構築
 - 日本の大学に欠けている学生発達の視点
 - 知的発達に限局される学習成果の概念
 - どのような活動が学生の発達に有効か
- 学習支援を統括するトップマネジメント
 - Senior student affairs and services officer(SSAO)学生支援と教育との統一
- 急速に変化する学生関係業務の調査研究こそ, まず最初のステップ